

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年7月19日（金）

2 確認箇所

Eタンクエリア

3 確認項目

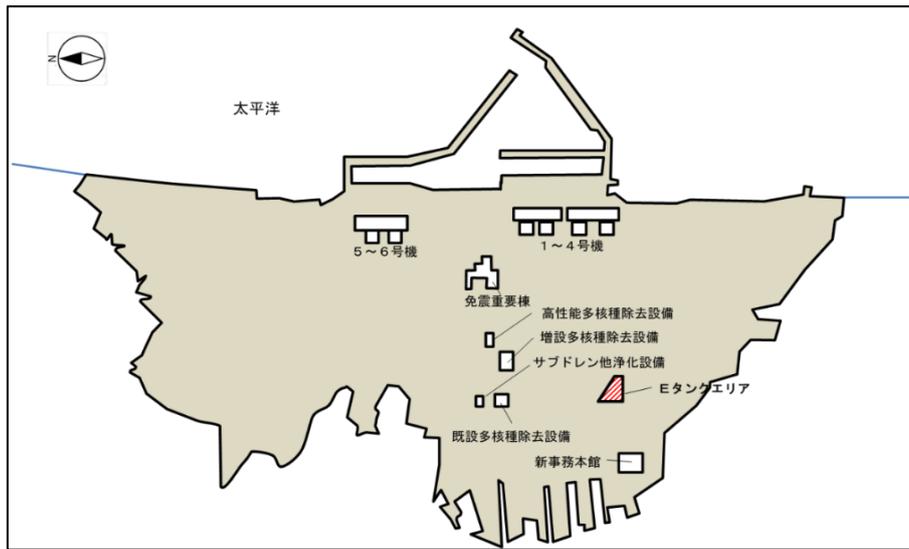
フランジ型タンク解体工事進捗状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアでは、フランジ型タンクの解体作業が進められており、これまでに全49基中47基の解体が完了している。残る2基のタンク（D1・D2タンク）の底部残水（RO濃縮水）には、アルファ線放出核種が含まれることから、底部残水の漏えいリスク低減のため、タンク内のスラッジ等を移送した後にタンク内壁を除染し、解体を行う計画となっている。

D2タンクは7月までに解体する計画であることから、その状況を確認した。（前回確認日：[令和6年6月12日](#)）

- ・D2タンクの解体が完了していた。（全49基中48基の解体が完了）
（写真1）
- ・D2タンクが設置されていた堰内は、ポンプを使って水が抜かれた状態であった。（写真2）
- ・D2タンク解体物である側板足場や背カゴ付きタラップが、Eタンクエリア内に仮置きされていた。（写真3）
- ・D1タンクを確認したところ、スラッジの漏えい等の異常はなかった。
- ・東京電力によると、D1タンクについては、令和7年12月頃の解体を予定しているとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
フランジタンク外観の状況
(令和6年6月12日撮影)



(写真1-2)
フランジタンク外観の状況
(令和6年7月19日撮影)



(写真2)
D2タンク設置場所の堰内の状況



(写真 3-1)
Eタンクエリア内の状況①
(側板足場仮置き)



(写真 3-2)
Eタンクエリア内の状況②
(背カゴ付きタラップ仮置き)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。